

令和7年度 奨学金募集について (HP用)

* 1月7日現在、応募できる奨学金です。

関心のある生徒、相談をしたい生徒は、職員室まで (担当: 橋本、市川稔)

第7版 1月7日

番号	学校連絡締切	書類提出締切学校へ	奨学金名	種類	金額(円)	貸付期間	返還	規模	資格	併用・併願	採用人数	書類等
19	1/26	2/13	アフラック小児がん経験者・がん遺児奨学金制度	給付	月額20,000円	高校などに在学中の期間（正規の最短修業期間以内）	なし	全国	3学年～5年生対象 【小児がん経験者】 ①18歳未満で小児がんを発症し、経済的理由により援助を必要とする方 ②奨学金の給付開始時に高等学校等に在学中(当年度入学希望者を含む)の方 ③奨学金申請時における前年度の世帯の収入または所得が指定の条件(詳細は担当まで)を超えない方 【がん遺児】 ①生たる生計維持者をがん(悪性腫瘍)で亡くし、経済的理由により援助を必要とする方 ②奨学金の給付開始時に高等学校等に在学中(当年度入学希望者を含む)の方 ③奨学金申請時における前年度の世帯の収入または所得が指定の条件(詳細は担当まで)を超えない方 ④直近の学習成績が評定平均値3.5(5段階評価)以上の方、または特定の分野において全国あるいは都道府県レベルで優れた実績のある方(全国大会出場等)	可	全国で30名程度(1年生15名、2年生10名、3年生5名) 全国で140名程度(1年生70名、2年生40名、3年生30名)	①奨学生願書 ②在学学校長(申込時)の推薦書兼成績証明書 ③個人情報の保護に関する同意書 ④採否通知用宛名用紙 ⑤申込時学年1・2学期の学業成績通知表の写し(全ての頁をコピー) ⑥保護者(父母/親族)の直近の収入(2024年中)を証明する公的証明書(年間収入が明記されていること)の原本 ※生活保護受給中の方は別途「生活保護決定(変更)通知書」(金額の記載のあるもの)を提出 ⑦小児がんに罹患したことを証明する医師の診断書 ※小児がん経験者のみ
23	申し込みは各自(令和8年1月31日まで)		交通遺児育英会 ①高等学校奨学生(第2次予約) ②大学・短期大学奨学生(第2次予約)	貸与	【高等学校】月額2万・3万・4万から選択(うち1万は給付) 【大学・短期大学】月額4万・5万・6万から選択(うち2万は給付) 希望者は入学一時金貸与もあり	最短修業年限	無利子 最終貸与6ヶ月後から20年以内	全国	③3年生④6年次生対象 保護者等が自動車やバイクの事故など、道路における交通事故で死亡したり、重い後遺障害のために働きず、経済的に修学が困難な生徒であること。	可	高等学校400人 大学・短期大学300人	応募方法(手順) ・応募書類は、交通遺児育英会奨学課に電話で申し込み、郵送で受け取る。また、HP(https://www.kotsuji.com/info-scholarship)からも応募関係書類のダウンロードが可能。 ・応募書類中の「願書」に必要事項を記入の上、添付書類を整え、交通遺児育英会に提出
24	3/5	3/19	公益財団法人 本庄国際奨学財団 高校生・高専生奨学金	支給	月額5万 ※大学等に進学しなかった場合も返済不要	高校2年から卒業までと、大学に進学した場合は大学卒業まで。	なし	全国	4年次生対象 応募資格(すべてに該当すること) ・全日制国公立高等学校1学年に在学する生徒。国籍は問わない。 ・日本の国公立大学(短大は除く)に進学を希望していること。 ・1学年の通年成績が評定平均値が5段階評価で4.5以上であること。 ・家庭の経済状況または本人の生活状況が下記のいずれかに該当すること。 (1) 世帯の収入(税金等控除前の金額)が800万円以下である。 (2) 社会的養護が必要な人。(児童養護施設入所中や里親家庭等)	記載なし	15名(高校生・高専生を合わせた人数)	詳細は「本庄国際奨学財団ホームページ(https://www.hisf.or.jp/scholarship/high-school/)」を参照 本校にも資料があります。 学校教員による推薦書が必要なので、希望する場合は早めに連絡してください。